

(お知らせ)

## 定期検査中の福島第二原子力発電所3号機における警報の誤発生について

平成19年3月13日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

当所3号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）につきましては、平成19年3月9日より第14回定期検査を実施しておりますが、本日午後0時7分、「RHR<sup>\*1</sup>ポンプAトリップ」、「RHR（停止時冷却）系A配管破断」および「RHR（停止時冷却）系B配管破断」の警報が発生し、残留熱除去系ポンプ（A）が停止いたしました。なお、警報は直ちに解除されました。

現場を調査したところ、実際の配管の破断はなく、水の漏えいも確認されませんでした。

当該警報が発生した原因は、RHR（B）系の点検を実施するための水抜き作業にともない、中央制御室で当該系統のポンプ入口弁の開操作を実施していたところ、安全処置<sup>\*2</sup>が不十分であったことにより、警報が誤って発生し、当該ポンプが停止したものと推定しております。

なお、原子炉は満水状態であり、当該ポンプが停止していても、他の系統<sup>\*3</sup>で原子炉を冷却しており、安全上問題ないと考えております。

今後、原因について詳細に調査いたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

### \* 1 : RHR

残留熱除去系（RHR：Residual Heat Removal System）。

原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱除去（燃料の冷却）や非常時に原子炉水位を維持するための系統（A系，B系，C系の3系統ある）。

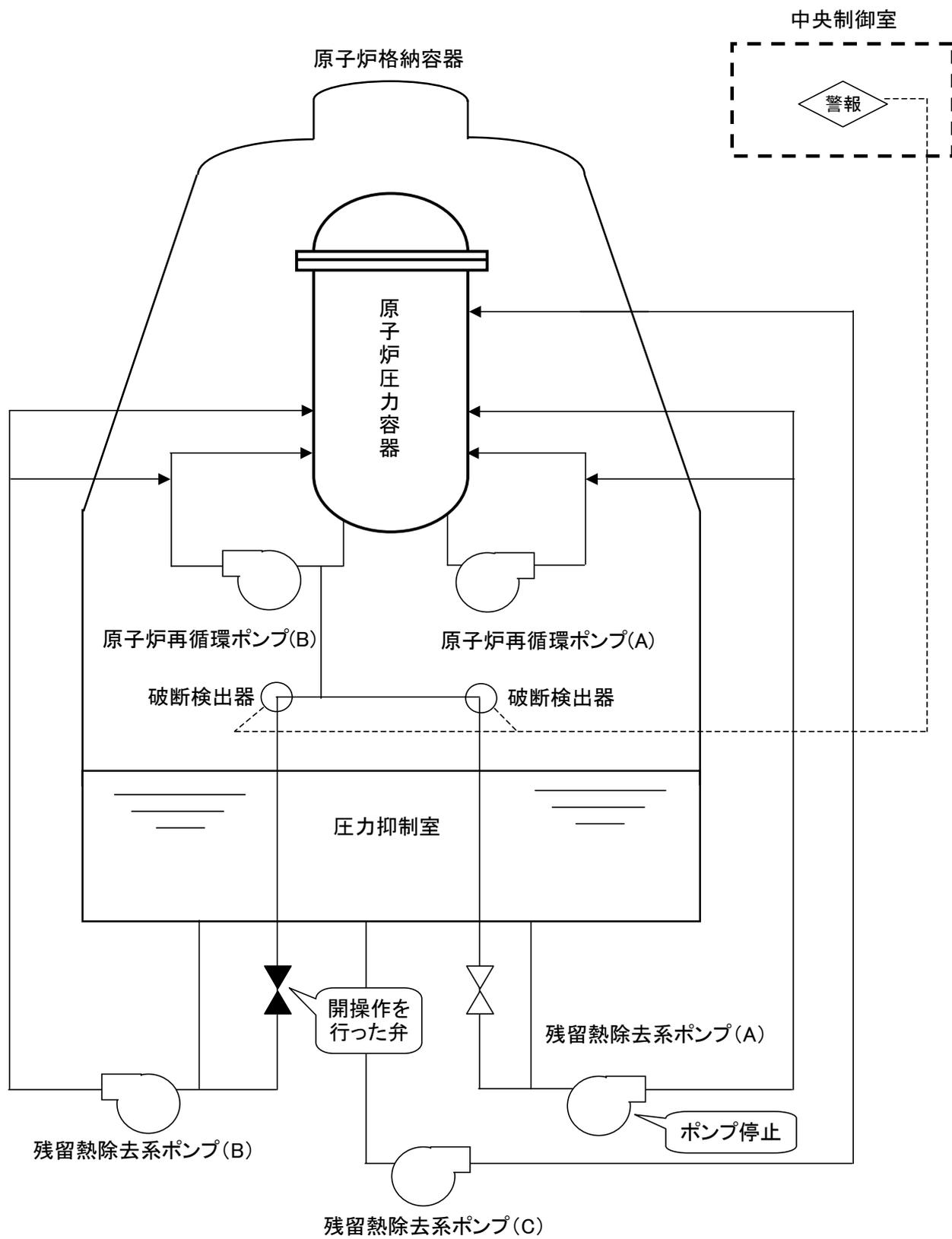
### \* 2 : 安全処置

保全作業の実施に際し、設備の安全等を確保するために行う、弁の開閉や電源の入切等の処置。

今回の事象においては、破断検出器の計器元弁を閉めるべきであったと推定されるが、今後、詳細に調査を実施。

### \* 3 : 他の系統

燃料プール冷却系および原子炉冷却材浄化系の2系統。



残留熱除去系・系統概略図